

次世代道路サービス，全国へ



高度情報化研究センター 高度道路交通システム研究室

室長 畠中 秀人 主任研究官 鹿野島 秀行

(キーワード) 高度道路交通システム，次世代道路サービス，公道実験

1. 次世代道路サービスの概要

スマートウェイ推進会議による提言「ITS，セカンドステージへ」（2004年8月）を受け，国土交通省ではスマートなモビリティ社会実現に向けた取り組みを行っている。

国土技術政策総合研究所では，上記提言を受け，次世代の道路サービスの普及展開を目標に，官民共同研究による仕様検討，実証実験，テストコースにおける公開実験を行い，2007年には初の公道実験を首都高速道路上で実施し，実用化へ向けて着実な歩みを進めている。

次世代道路サービスは5.8GHz帯DSRC(狭域通信)を用いた双方向通信と高機能カーナビゲーション装置を主要構成要素として行われる情報提供サービスであり，従来のVICS（道路交通情報通信システム）やETC（自動料金収受システム）の機能に加え，さらに高度な道路交通情報，安全運転に役立つ情報等を画像や音声で提供することを可能とする（図-1）。



図-1 次世代道路サービスのイメージ

2. 全国展開へ向けての取り組み

首都高速道路上における公道実験の結果を踏まえ，2008年は東京，京阪神，愛知，広島，新潟において，次世代道路サービスの公道実験を実施している。都市内高速道路，都市間高速道路や山間部の一般道路等，多様な道路環境で検証を行いシステムの完成度を高めて標準仕様化に向けての基礎資料を得ることとともに，将来の全国展開の布石を打つことも目的に行うものである。本実験の成果は2008年度末にとりまとめる予定である。

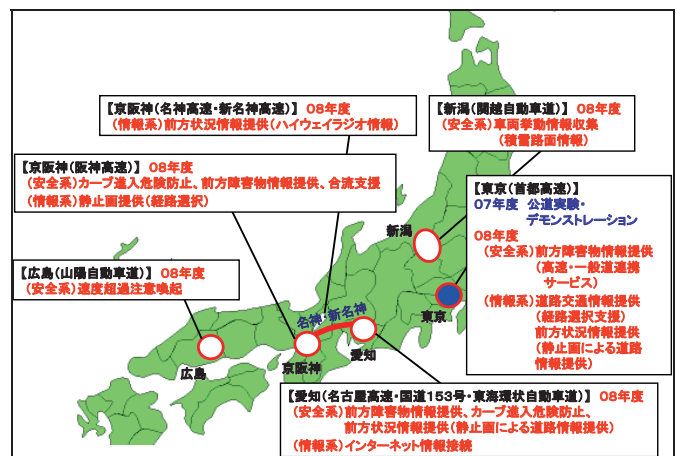


図-2 2008年度の各地域へのサービス展開

【参考情報等】

● 関連するHPのURL

ITS-SAFETY2010 08年度大規模実証実験計画
http://www.kantei.go.jp/jp/singi/it2/others/its_safety2010-keikaku.pdf

● 関連して発表した学会誌・専門誌等文献リスト

- ・畠中他：「スマートウェイサービスの地域への展開」，第7回ITSシンポジウム，2008.12
- ・吉本他：「スマートウェイ2007及び2008年度の展開」，建設電気技術2008技術集，2008.9